

# 年輪西京

2024年  
7月15日  
第243号

全日本年金者組合京都西京支部  
発行責任者 藤原克東  
編集責任者 大橋歳彦  
TEL/FAX 075-331-3273  
E-mail : pikuz288@ybb.ne.jp

## 第21回支部総会 高齢者の悩みに寄り添う年金者組合を

全日本年金者組合京都西京支部は6月29日、洛西・境谷センタ―会議室にて午前十時開会で第21回定期総会（支部結成20周年記念総会）を開催しました。



市川副支部長

まず始めに市川弘子副支部長の司会で開会の宣言とあいさつ。議長に中田洋子さん（松尾）選出。



中田議長

議長登壇して就任のあいさつのと資格審査委員に澤太郎さん（上里）を選出しました。

資格審査委員の報告は、組合員174名中、出席者63名、委任状78名。過半数は87名なので出席63名、委任状78名、合わせて141名になるので本総会は支部規則に基づく過半数を越えているので成立していますと、報告がありました。



澤資格審査委員

藤原克東支部長のあいさつでは、先ず2023年度にお亡くなりになられた組合員について名前を読み上げられました。山本拓治さん・大前健さん・竹内義弘さん・宮崎晴夫さん・糸山勝さん。この5名の方々に對し出席者全員が黙祷を捧げました。



藤原支部長

「西・右京支部が2004年5月30日の第16回定期総会で分割し、西京支部が結成され、20周年を迎える記念すべき総会です。今、私たちは敬老パス改悪、物価高騰、市バス値上げに抗して闘っています。市バスの値上げは市長選公約の違反で徹底して闘いたい。現在、組合員174名ですが、当面の目標、190名を達成したい。周りの人に、

お助け隊、サークル、共済、誕生会などあるので、チラシを活用して仲間を増やして欲しいです。高齢者の悩みに寄り添い、日本を戦争しない国へと活発な討論で、意義ある総会になるようお願いいたします。」と訴えました。

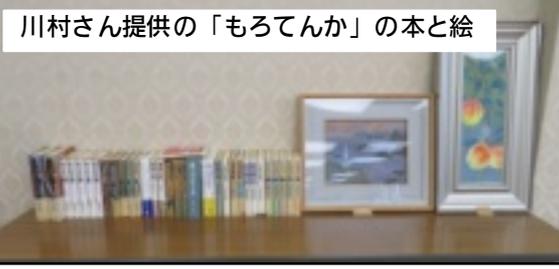
来賓あいさつでは山本京都府本部委員長は、「府本部も36回総会を終えました。藤原さんが役を降りられた

### 2024年 結成20周年 大21回 定期総会 年金者組合西京支部



山本府本委員長

のが惜しですが、西京で頑張ってください。バス代値上げ反対で座り込みまで藤原さんはやっ



川村さん提供の「もろてんか」の本と絵

てくれました。全国で年金者組合員数が10万人を切れれば、交渉しないという国側の攻撃に負けずガンバって組合員を増やしましょう。女性の低年金問題、マクロ経済制度、東京の都知事選挙の応援に年金者組合も頑張りますよ。」とあいさつしました。（次面総会特集へ続く）

# 総会特集

## 来賓のあいさつ

日本共産党を代表して河合ようこ市会議員は、「21回総会おめでとうございませう。議員になったとき、西京支部が結成されました。沖縄の女児事件、本当に怒りがこみ上げます。戦争方



成宮府議と河合市議

向に向かっている岸田総理、もうやめて、とみんな思っている。暮らし、社会保障をよくするには、軍事優先をやめさせよう。中京区の議席を増やしたい。そのためにひと言かけをして頂きたい。加齢性難聴の方が増えていく。値上げで敬老乗車証を受けられなくなってきた人が4800人もできてしまった。松井市長は民間を呼ぶのは熱心で、リニアも進め、万博にも支援する

方向です。年金者組合のますますの発展を願い、共産党も頑張っていく予定です。本日はおめでとうございませう。「とあいさつしました。成宮まり子府会議員も合わせのあいさつでした。

## 総会議案の提案

第一号議案「2023年度活動報告案」を新宮峰男事務局長が提案。



新宮事務局長

第二号議案「2023年度決算報告案」を山崎治男会計担当が提案。



山崎会計担当



九矢会計監査

会計監査報告を九矢幸一

会計監査委員が報告。第二号議案「2024年度予算案」を山崎治男会計担当が提案。第三号議案「2024年度活動方針案」を新宮峰男事務局長が提案。第四号議案「支部規則改定案」を山本公子事務局長が提案しました。



山本事務局次長

このあと質疑討論に入りました。

澤太郎さん(上里)の発言



澤太郎さん

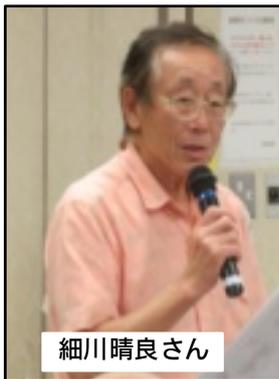
上里民報と労演、戦争展のピラをお配りしました。戦争展はウクライナ、ガザ、台湾も含めた内容があり、ミュージアムも新しい内装になりました。労演は財政危機で、文化庁からの補助もなくなり大変です。前進座も財政困難で、演

劇は文化を支えているのに、すべて危機状態におちいつている。

市バス問題でも、西京の中でも上里は、みすてられている。西9号系統ができたが、桂駅ではなく桂川方面へ行く。洛西方向へ行かない系統になり、老人福祉センターへも行けなくなった。6月13日には9ページもの困り文が共産党に送られてきている。年金者組合でも、路線問題も取り上げて欲しい。

向日市でのアリーナ問題。西京区も隣接して道路が渋滞しないか？民間丸投げになっている。

細川晴良さん(福西)の発言

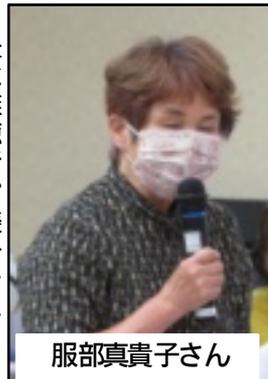


細川晴良さん

市バス運賃値上げ反対署名、たくさんありがとうございませう。京都市はもともと西京地区のバス代を値上げしたかったと考えれば、よくわかるのではないかと。南丹市、亀岡市の話。届け出制で値上げができる。均一料金でない地区の話。事業者は約1億円の儲けがある。洛西ニュータウンでは、先

行事業者は市バスのはずなのに、今回の値上げは利用されたのではないかと。これからの月1回は市役所を訪問し、市長に値下げを要求していきたい。

服部真貴子さん(桂坂)の発言



服部真貴子さん

夫は難聴で、様子をみようと検査している間に難聴度が進み、障害者になれば1割負担で補助が受けられるということになってしまった。補聴器の値段が高いので、障害者になるのを祈っているようなことになってしまった。難聴は世間が狭くなってしまっているので、両耳とも医療保険給付の対象に、という要求をしてほしい。できあがった補聴器をつけて、鳥の音が聞こえたことに夫は感動していた。両耳補助の要求をしてほしい。(総会特集・次面に続く)



# 総会特集

細田一憲さん（境谷）の発言



細田一憲さん

議案書の「人生のしまい方」の文にドキッとした。週刊ポストに「おひとり様特集」が取り上げられていた。人生の孤独、さびしさ、墓のことなど、どう考えていくかという内容。サルトルも60歳後半、認知症で失禁、そのことをボーボワールは見ていた。ケアの問題を誰がどういう状況でするか、お金はどうするか、孤独の問題をどう考えるか。75歳を越えたら誰でもなる。老人はいろいろなことで失敗する。そのサポートには文化と命が大切だ。

八木幸一さん（福西）の発言



八木幸一さん

年金闘争の学習をすればいいのではないか。月1回の割合

で年金問題を続けてはどうか。（参考資料をあげておられた）

大橋和子さん（新林）の発言



大橋和子さん

年金新聞全国版に、鹿児島は高齢者のための無料バスができた記事が載っている。池公園↓生協はヤサカバスしかない。バスターミナルに入ったり、ぐるっと回っての運行で路線が複雑でややこしい。時間がかかる。老人に分かり易い簡単な路線にしてほしい。

河合ようこさん（檜原・市議）の発言



河合ようこさん

定年まで働いた人は厚生年金などがあるが、そうでない人は月2〜3万くらいしか収入がなくて、どこへも出ていけない人がいる。食材配達を待っている人も多い。ひとりぼっちの人が費用をあまり使

わずに出かけていけるようになるればいいと思う。

質疑討論のまとめ

## 新宮事務局長

◎八木さんの年金学習が必要という意見。中央本部の記事が資料によいとのこと。学習していきたい。将来の年金受給者の問題でもあるし、年金受給者が学習し、アピールしていきたい。女性の年金は少ない。最低年金を確保したい。◎交通問題。路線問題、西京区は本当に見捨てられている。行動で表すしかない。市内の人にも届くような行動をしていきたい。座り込みをしよう。◎補聴器。公的補助の要求をしていく。◎班・学区別行事をやっているが、この取り組みを重視していきたい。班としての楽しみ会も追求していきたい。◎細田さんの文化論、年金組合としても文化を重視していきたい。

年金者組合の数が力となる。要求実現のためにも数が力になる。常に仲間増やしを大切にしていきたい。パンフレットも5000枚作ったので、大いに進めて仲間を増やしてほしい。年金者組合の交渉には、区長は出てこない。人数を増やし190名に到達したい。交渉を区長とやりたい。

議案討論のまとめのあと

議案の採択に移りました。全ての議案について賛成多数で採択しました。

## 利根川猛選挙管理委員長

から役員選挙についての説明があり、投票用紙が配布され投票に移りました。全ての役員候補者は信任多数で選出されました。



利根川選管委員長

## 新役員には

- |       |        |
|-------|--------|
| 支部長   | 藤原 克東  |
| 副支部長  | 市川 弘子  |
| 同     | 大橋 歳彦  |
| 同     | 山田 喜彦  |
| 事務局次長 | 新宮 峰男  |
| 同     | 山本 公子  |
| 同     | 山崎 治男  |
| 同     | 池島 三千江 |
| 同     | 市村 恒人  |
| 同     | 大橋 照代  |
| 同     | 大野 研而  |
| 同     | 奥村 敏春  |
| 同     | 小島 志津子 |
| 同     | 田中 康晴  |
| 同     | 中須 洋子  |
| 同     | 九矢 幸一  |
| 同     | 永田 和久  |
| 会計監査  |        |
| 同     |        |

このあと特別決議案の提案を山本公子事務局次長が読み上げて提案しました。拍手で採択しました。



山本事務局次長

総会宣言案の提案を山池島三千江支部委員が読み上げて提案しました。拍手で決議しました。



池島支部委員

最後に中田議長退任のあいさつ、があり、山田喜彦副支部長が閉会の挨拶と「団結ガンバロウ」の首頭を取りました。



山田副支部長

（総会特集・次面に続く）

# 支部結成20周年を祝う会を開催

屋食後、山崎さん・市川さんの司会で開会。藤原支部長は、20周年を迎えられたことの意義と喜びを語られ、300名の組合員をめぐり、大きく前進しようと呼びかけられた。

支部が作成した「20周年のあゆみ」のスライドを上映。16枚の写真が上映されました。

結成10周年記念の淡路島旅行の写真や琵琶湖ピアンカの写真は懐かしく思い出深いものでした。お亡くなりになられた方々のありし日のお姿も見る事が出来ました。でも記念写真ばかりで臨場感が少なく、もっとスナップ写真等が見たかったのですが。

思い出インタビューは、20周年前を知っている古い方に聞く。松尾満さん、伊藤澄子さん、中須洋子さんなど。右京支部合同の取組で「京を味



増田貴美子さんの健康体操



「西京支部うたう仲間たち」の発表



民謡の会「華」の演奏

わう」と「メーカーの後の懇親会」、千代原口の元生協二階の教職員組合の事務所を昼間使わせてもらっていたことなどを懐かしく語られた。健康体操は、松尾の増田貴美子さん。退職後インストラ

クターの資格を取り、ボランテアで老人センター等で指導をされ忙しい毎日をすごされています。たった15分という制約の中で、椅子に座って出来る高齢者向けの体操を皆が頑張る。すぐ時間が来て名残惜しい。眠気も吹っ飛び、好評に終わった。有り難うございました。

卒寿のお祝は新林区の黒住嘉輝さん。記念品の贈呈のあと、お礼の言葉と歩んできた人生を語られた。アトラクションは、民謡の会「華」の合唱で、会場にも歌詞表が配られ、三味線の伴奏で会場の皆さんと四曲を歌いました。

## 中須洋子さんの20周年の思い出

26年前に現在の桂徳の地に越してきて、お向かいさんの藤井英子さん（老人ホームに入所中）に誘われて加入しました。右京と一緒に行事「京を味わう」が月一回あると聞き、食いしん坊の私は喜んで参加しましたが、実は京都の文化や歴史、史跡等を訪ねて歩くことだったので。知らない事ばかりで、右京支部長の藤井先生のガイドは完璧でした。お友達も出来て楽しかった思い出です。

もう一つは私が巡った「法然上人御貴跡地二十五霊場」巡拝のことです。年金者組合の仲間のおかげで結願するこ

続いて結成ほやほやの「年金者組合西京支部うたうなかなたち」の発表。事務局長、事務局次長や支部役員も多数メンバーとして登壇。明日の「西京みんなであそぶ音楽祭」に初出場の声ならしでもあります。ピアノ伴奏の早見公夫さんも来られて、本番そのもの。声もよくとおり、自信いっぱいでした。

そして終りは「みんなでおう」で4〜5曲をリクエストで唄い、最後に「かけがえない人生」を全員合唱して「20周年を祝う会」の幕を閉じました。ご参加の皆さんご苦労さまでした。（大橋照代）

とが出来ました。遠くの和歌山や播州等は自家用車で、友達を便乗して連れて行っても良かったり、近くは年金者のお友達、そして姉や娘にまでも託したことも。二年かけて結願成就でき、大変うれしかったです。20年前は体力もあり、みんな元気だったなあと思います。その巡拝記録を「年輪西京」に19回にわたり連載され、「元祖法然上人御貴跡地二十五霊場巡拝の旅」として冊子を発行して頂き、忘れられない一生の思い出となっています。「お母さんは年金者組合に入って良かったなあ、楽しそうや」と夫が言います。

## 窓

6月1日から洛西ニュータウンおよび桂坂の各バス停から阪急桂駅までが240円から270円に値上げされました▼「市バスの運賃値上げはしない」という松井市長は選挙公約違反です▼「先行事業者である京阪京都交通の運賃に同調していません」が理由です。洛西ニュータウンと桂坂に先行事業者はありません。どちらも竹藪を切り開いて団地を造ったのですから▼均一区間に比べて40円も高い市バス料金。此処に住む私たちは京都市民の扱いを受けていないのです。西京区は地下鉄が来ていない唯一の行政区です。その私たちに高いバス代を支払わせるとは▼本来、西京区全域、均一運賃にするべきです。あの遠い「高雄梅の尾」も均一230円で行けますよ▼29番で四条烏丸まで300円が330円。23番（前の73番）・33番、京都駅までが300円が330円。70番天神川まで300円が330円。これは不公平の極まりです。全て均一230円で行けるようにするのが市民サービスというものです。（大橋照代）

**特別決議**

沖縄米兵による少女暴行事件とそれを隠ぺいした日米両政府に強く抗議します

米軍嘉手納基地所属の米兵が、16歳未満の少女を車で連れ去り、自宅で性的暴行を加えるという人権蹂躪の許しがたい犯罪が起きました。

事件発生は昨年12月であるにも関わらず、この事件が公表されたのは6月25日です。日本政府は、事態を把握しながら、沖縄県にはまったく知らせず、隠し続けてきました。

その間には、県民の反対を押し切って、政府は辺野古新基地建設工事の「代執行」を強行(12月)、岸田首相が訪米し日米首脳会談で「日米の指揮統制強化」の合意(4月)、駐日米大使が石垣・与那国島を訪問し米軍基地化の地ならし(5月)など、日米軍事同盟強化が進められました。また、事件が発覚して居れば大きな影響を与えたであろう沖縄県議会選挙が6月16日に行われました。これらを見ると、日米両政府が共謀して事件の隠ぺいを図ったとしか言えません。

沖縄では復帰からの50年間で、584件もの米兵による凶悪犯罪が発生しています。米軍基地は沖縄県の面積の8.1%を占め、嘉手納基地は東アジアで最大で、最も活発な運用がなされています。これらの根源は、日米安全保障条約です。

- 一、全日本年金者組合京都西京支部は、本総会の名において、米軍による人権蹂躪の犯罪に強く抗議します。
- 一、沖縄県民のいのち、安全安心な日々の暮らしを守るために、米軍基地の撤去、辺野古新基地建設の中止を求めます。
- 一、重大な事件を隠ぺいし、日米軍事同盟強化を優先してすすめる、岸田政権とアメリカ政府に強く抗議します。以上決議する。

2024年6月29日

全日本年金者組合京都西京支部第21回定期総会

**総会宣言**

私たちは、結成20周年の記念すべき総会を組合員174名の増勢の中で、成功裏に終えようとしています。

この20年の支部の歴史は、仲間同士の絆を大切に、高齢期を楽しく心豊かに過ごすための活動を第一義とし、合わせて、仲間や地域の要求実現のとりくみも粘り強く進めてきました。

この20年、高齢者をめぐる状況は、国の経済の低迷を背景にますます息苦しいものになっています。憲法9条を骨抜きにする「戦争する国」づくりが急速に進んできました。日々の生活では、物価や公共料金の値上げ、社会保険料の引き上げがますます暗い影を落としています。長く続いてきた自民党政治のひずみと害悪がいよいよ頂点に達し、国民の中で爆発する寸前の状況を呈しています。「政治とカネ」をめぐる自民党の放漫と傲慢に愛想をつかす国民の意志が各地の選挙で自民候補を追い落としていきます。自民党政治を終わらせる時期がついに来た、と言えるでしょう。

年金者組合の私たちは、強い行動力を持ちませんが、微力でも無力ではありません。暮らしや平和の問題で、仲間とともに声を上げ、できることを精一杯やります。これが年金者組合の「らしさ」なのです。また、独りぼっちの高齢者をなくすために、仲間増やしと楽しい活動を創意工夫しながら続けて行きます。西京支部結成20周年を祝し、20年の歩みを支えてこられた諸先輩のご苦勞に感謝しつつ、20年の支部の歩みをより豊かに発展させ、年金制度の抜本改善の実現、暮らしと平和を守るために、高齢者比1%の組合員300人、早期に190名の未踏の峰への到達をめざしましょう。

以上宣言する

2024年6月29日

全日本年金者組合京都西京支部第21回定期総会

**当面の日程**

- 7/15 (月) 第2回支部委員会 13:30~  
年金フェスタ第4回実行委員会 15:00~
- 7/22 (月) 7月生まれ、お誕生会 13:30~ ほっこりサロン
- 8/ 2 (金) 西京支部戦争展へ 10:50 阪急桂駅改札集合
- 7/29~8/3 平和のための京都の戦争展 9:00~16:30  
立命館大学国際平和ミュージアム
- 8/ 5 (月) 女性の会役員会 10:30~ ほっこりサロン  
第3回支部委員会 13:30~ ほっこりサロン
- 8/ 6 (火) 平和の鐘つき 7:45~ 大妙寺 三ノ宮下車西100m
- 8/19 (月) 第4回支部委員会 13:30~
- 8/26 (月) 8月生まれ、お誕生会 13:30~ ほっこりサロン
- 9/ 6 (金) 20周年記念 三方五胡、日帰り旅行



## 2024年(第44回) 平和のための京都の戦争展

7月29日(月)~8月3日(土)  
9:30~16:30

会場：立命館大学  
国際平和ミュージアム

市バス「立命館大学前」徒歩5分

市バス「わら天神前」下車西へ徒歩10分

年金者組合西京支部は  
8月2日(金) 10:50  
阪急桂改札前集合  
西院下車

市バス西大路四条バス停から  
立命館大学行に乗ります

誘い合わせて御参加を！！

西京支部 &amp; 女性の会・共催



# 「今年も言いつつないこと言いつつ」

## 6月お誕生会

6月のお誕生会に参加しました。2年ぶりかもしれない。見覚えのあるメンバー4人が集いました。誕生の月が



変わらなから、同じメンバーが毎年顔を合わせることにな

るわけです。そんな当たり前のことが愉快に感じられるような、心温まる会にしてください

ら見れば活動的で健康そのものと思われ、しかし何か漠然とした不安。このまま年をとってどうなっていくのだろう。病気になる時、耐えられるのだろうか。物価がどんどん上がっていくけど食べていけるのだろうか。貯金がなくなったらどうしよう。杞憂といってしまうばそうなのかもしれないけど、漠然とした不安があつてというようなことをぼちぼち言いつつ、少し発散できたような気がします。

一人一人今まで言いつつないことを言いつつ自己紹介にしようということでした。私も今思っていることを言いました。一番感じていることは、何か不安だということです。今病気をしているわけではないし、どこかが痛いわけでもない。ただダンスだと忙しく飛び回っている私は、他人か

とおどけた挨拶で始まったように、支部役員以外には井上さんと私だけ、という顔ぶれでした。自己紹介は少少趣向を変えて。との司会者の要望に各人が、近況、生い立ち、最近の出来事、雑感と多方面の話題が出されました。みなさんお話がうまく話題は豊富でしたが、短い時間で進んでいきました。西京から長岡京に転居されても西京年金者組合のサークルや諸課題の運営に協力していただいている井上さんは参加者中で一番若く、川柳や茶道、山登りや卓球等々趣味も広く、最近ではボルダリングや社交ダンスを続けていくために毎日意識して筋力トレーニングを心がけていると、の話は皆の関心を引きました。順序が逆になりましたが、当日他の公務で出席できなかった藤原支部長に代わって支部を代表して事務局次長の山本公子さんから挨拶とお祝いの言葉がありました。山本さんは前日の沖繩慰霊の式典で朗読された高校生の詞に感銘を受けたと話され参加者も同じ思いに共鳴しました。

もし年金者組合に入らなかったら、この不安はもっともっと大きくなっていったかです。私がたわごとを言いつつ、それを黙って受け止めてくれる人たちがいる。年金者組合つてこういうところやっとなあと改めて温かい気持ちになりました。(井上美智子)

恒例の頭の体操は皆さんすらすと答えが出て、出題者の新宮事務局長はちょっと困った表情でしたが、数字の問題になると少しもたもた。でも9個の2桁の数字から3個選んで100にする問題は難問でしたが、最高齢の田中さんが素早く答えられたので皆の拍手が起りました。田中さんは独り暮らしになつたので買物に行つて計算する機会が多いからと、ちょっと照れながら話してくださいました。

### 7月生れ・お誕生日おめでとうございます

- 梅村清美さん (境谷)
- 岡村文代さん (川岡東)
- 草場真知子さん (長岡京)
- 幸良さん (新林)
- 小島淳子さん (桂坂)
- 佐々木嘉子さん (福西)

- 新宮真知子さん (境谷)
- 服部真貴子さん (桂坂)
- 山田敏和さん (桂坂)
- 吉田安生さん (桂川)
- 和久雅美さん (新林)

6月のお誕生会が24日、ほっこりサロンで開かれました。例年よりかなり遅く梅雨入り宣言された3日後でとても蒸し暑い日でした。6月生まれの組合員さんは12名で、参加していただいたのは市川弘子さん、井上美智子さん、田中康晴さん、山田喜彦さんの4名。スタッフは5名でした。司会の大橋照代さんの「さあ皆さん支部委員会を開きます」

その後、西京みんなで作る音楽会の参加曲「青い空は」「かけがいのない人生を」を歌い、続けて「もずが枯れ木で」「夏は来ぬ」「高原列車は行くよ」「ピクニック」と各人の愛唱歌を最初の1コーラスを各人が独唱して、後を皆で合唱しました。歌のお好きな方が多く、いいハーモニーが流れました。

**7月のお誕生会**  
 日時：7月22日(月) 13:30~15:30  
 場所：「ほっこりサロン」  
 新山陰街道三ノ宮・ハイツ三宮一階  
 交通：市バス 西2・西5・西6・西8 (バス停) 三ノ宮街道 下車

**8月のお誕生会**  
 日時：8月26日(月) 13:30~15:30  
 場所：「ほっこりサロン」  
 年金者組合西京支部

(中田洋子)

2024年度

学区別懇談会特集

その二

新林区の報告

6月13日(木) 13時半〜15時

新林会館にて

23名中13名参加で、賑やかな会合でした。それぞれの方に、最近よかったこと、困ったこと、腹の立つことなどを、自己紹介を兼ねて発言してもらいました。

※耳が遠くなって家族内でも意思疎通が困難。↓補聴器の公的補助が必要

※足腰が弱ってきて、今までできていたことができない。心細い。

※阪急桂〜高槻間や、新幹線東京〜京都間でも、田んぼや畑が減っている。日本の食料自給率が30%代と低いのが心配だ。

※若い頃は労働組合で頑張ったが、今は畑で頑張っている。ボケ防止には良い。

※バス運賃値上げ：洛西は見

捨てられている。市営住宅の改修も少しずつ進められているが、これでは入居者は増えない。

※一家そろってコロナにかかった。食事を作るのが自分しかいないので大変だった。

※高齢者施設に対するコロナ検査キットなどの公的な支援が打ち切られている。ワクチンもこれまでは無料だったが、今後は5〜6千円になるのではないかと？

※画家として全国をまわった。若いころから共産党に共鳴して、ポスターやビラを作って宣伝した。喋るのが苦手だが、今日はよく喋れたかな？

※新日本婦人の会で医療をよくする会などの活動している。ニュータウン病院の前身、関西医科大学の頃1982年頃は、土地の賃料は無料だったが、2013年頃、ニュータ

ウン病院には、2〜4千万円/年、の賃料が課せられるようになった。↓洛西口方面に移転するらしい。市は責任をどうとしない。

※マイナカードを健康保険証として利用する方向のようだが、いつも持ち歩くリスクがでてくる。↓良い方向とは思えない。

などなど、多方面の運動課題が確認されました。

懇談の最後に、新宮事務局長より京建労、新婦人などと共に、西京区の運動団体として、先の市長選挙での諸課題を取り組むために「つなぐ西京」を継続する。この共同を強めていきたい、と結ばれました。(大野研而)

松尾・嵐山・右京区  
合同会議の報告

6月15日(土)午後2時〜4時の間に、会員の中田様宅で、松尾9名、嵐山1名、合計参加者10名(男性3名、女性7名)でした。

はじめに自己紹介をして、自分の過去の生活、やってきたことなど出し合った。

年金者組合西京支部に対して、意見・要望を出してもらいましようと思いました。

※催しとして楽しいことがない。最近入っけても面白くない。

※ハイキングクラブについて、一人の方が参加しているが、ハイキングというより登山で、皆についていくのがしんどい。

※卓球サークル、今やっておられるのが向日市なので、松尾から行くのがくたびれるので、西の地域でなんとかサークルを作って欲しい。

※「お助けし隊」でいろいろ頑張っておられるのはいいのですが、メンバーの高齢化になり気を付けないと大変なことにもなるので、内容を少し考えた方がいいのではないかと。

※バス問題で、69番、29番、28番の時間的な連絡がうまくいってないので、区役所へ行くのとか、嵐山へ行くのでも不便さを感じる。

※あらゆる面で高齢化がすすみ、サークル活動のできないところが出てきている。

最後に、年2回くらい懇談会が持てるのいいと思います。(山田喜彦)

松尾・嵐山・右京区  
合同会議の報告

6月15日(土)午後2時〜4時の間に、会員の中田様宅で、松尾9名、嵐山1名、合計参加者10名(男性3名、女性7名)でした。

はじめに自己紹介をして、自分の過去の生活、やってきたことなど出し合った。

年金者組合西京支部に対して、意見・要望を出してもらいましようと思いました。

阪急桂西口宣伝

日時：7月・8月は  
西口宣伝はお休みです。

場所：阪急桂西口  
バスターミナル前  
毎月25日、御参加を！  
年金者組合西京支部

支部結成10周年記念 日帰り旅行

三方五湖・レインボーライン

海鮮バイキングとお買い物・敦賀魚街お買い物ツアー

日時：9月6日(金曜日) 集合：境谷大橋バス停 7:00  
阪急桂駅西口 7:45

参加費：1人8000円  
定員 25名(マイクロバス利用)

参加希望の方は支部役員まで、25名で締切ます  
主催：西京支部結成20周年事業実行委員会



# 綴り方教室 その四十六 “沖繩戦慰霊の日の詩” 田中康晴

最近、勤労者学園の朗読教室に通い始めた。講師は某在阪TV局のアナウンサーOBの方である。月二回、テキストは講師が選んでくれる。芥川龍之介の魔術、宮沢賢治の銀河鉄道の夜、工藤直子詩集も。与えられたテキストの幾つかのセンテンスを読む。こんな気持ちで読みたい。答える。ではそれをしっかりと一度読みましょう。みんなうまい。間、スピード、抑揚と。読み聞かせをしている人もいる様だ。新参者の私も、やっと声の大きさだけは認めてもらえた。楽しい。

あの日  
短い命を知るはずもなく  
少年少女たちは  
誰かが始めた争いで  
大きな未来とともに散って逝った

大切な人は突然  
誰かが始めた争いで  
夏の初めにいなくなつた  
泣く我が子を殺すしかなかった  
一家で死ぬしかなかった  
誰かが始めた争いで  
常緑の島は色を失くした  
誰のための誰の戦争なのだろう  
会いたい、帰りたい  
話したい、笑いたい  
そういくら繰り返そうと  
誰かが始めた争いが  
その全てを奪い去る

心に落ちた  
暗い暗い闇は  
あの戦争の副作用だ  
と続くのである。  
そして彼は嘆く。  
かすかな光さへも届かぬよつな

絶望すらもないような  
怒りも嘆きも  
失くしてしまふような  
深い深い奥底で  
懸命に生きてくれた人々が  
今日を創つた  
今日を繋ぎ留めた  
両親の命も  
僕の命も  
友の命も  
大切な君の命も  
すべて

彼は続ける  
心に落ちた  
あの戦争の副作用は  
人々の口を固く閉ざした  
まるで  
戦争は悪いことだと  
言つてはいけないのだと  
口止めるように  
思い出したくもないほどの  
あの惨劇がそうさせた

あの日も  
海は青く  
同じように太陽が照りつけていた  
そう言う普遍の中にただ  
平和が欠けることの怖さを  
僕たちは知っている  
彼は静かに語る。  
人は過ちを繰り返すから  
時は無常にも流れていくから  
今日まで人々は  
恒久の平和を祈り続けた  
小さな島で起きた  
あまりにも大きすぎる悲しみを  
手を繋ぐように  
受け継いできた

その素晴らしさを噛みしめながら  
彼はこう結んだ。  
現在の美しい穏やかな沖縄と戦争中の悲惨な状況を対比。今なお戦争や紛争が続き拡大する現状に対する怒り。これからも希望を持てる世界を希求する若者の決意である。  
私は負けたと思つた。若者の高い美しい声だけではない。作つた抑揚ではない。スピードではない。ほとぼしり出る心の高揚だ。訴えたい。聞いてほしいという心の声だ。朗読は心だ。

朗読教室は8月は休み。9月は先生がテキストを選ばずに何か読みたい作品を銘々が自分で見つけ発表しろと言われている。  
私はこれに決めた。文学作品ではない。講師の説得から始める。どう読めるか。こんなテーマにあまり関心のなさそうなクラスメートの中心でどう読めるか、彼の心を伝える事が出来るか、自信はない。でも心は負けたくない。(完)

僕は再び天を仰いだ  
ぬけるような青空を  
飛行機が横切る  
僕にとつてあれは  
恐れおののくものではない  
僕らは雨のように打ちつける  
爆弾の怖さも  
戦争の「せ」の字も知らない  
けれど、常緑の平和を知っている

今年も六月二十三日を  
平和のために生きている

今年も六月二十三日を  
平和のために生きている

今年も六月二十三日を  
平和のために生きている

今年も六月二十三日を  
平和のために生きている

今年も六月二十三日を  
平和のために生きている



# なぜ、今ヘルパーがいなくなるのでしょうか？阿部いずみ

ヘルパーの仕事は専門職で

働き方が出来る。

す。家事の延長ではありません。

多くのヘルパーが疲弊して

ん。何度も言います。今ヘル

います。これらが整ってこそ

パーの平均年齢は60歳です。

良いヘルプが出来ます。これ

ヘルパーがもし、自分より体

は利用者のためでもあります。

重の重い利用者さんの身体介

今ヘルパーの平均年齢が60

護、おしめ交換や身体移動な

歳だと書きました。これが何

どをするようになります。ヘルパー

故？なのか、事業所により80

は少しでも負担を軽くすること

歳のヘルパーもいるのです。

とに心掛けます。経験を積み

身体介護は若い人でないと厳

利用者さんも自分も無理なく

しい仕事です。どうしても若

気持ちよくできる事を心掛け

い人に集中します。過労で離

ます。だから専門職なのです。

職につながります。次の世代

にわか作りのヘルパーでは

のヘルパーのなり手がありま

すぐに腰を痛めます。離職に

せん。仕事は厳しく給料も安

つながります。そしてますま

いので当たり前です。ますま

す一人への負担が多くなりま

す高齢化します。ヘルパーが

す。ヘルパーには女性が多い

いなく なります。今すでに、

です。しかも一家を支えてい

介護難民が始めています。

る人が多いのです。これほど

40歳から介護保険料を取ら

専門職で技術が必要な仕事な

れます。保険料が大幅に上が

のに、なぜ平均的な給与が男

りました。取るだけとって介

性より少ないのでしょうか？

護が必要なのにヘルパーがい

ケアでも書きましたが、家

ません。特養も月に15万円必

事の続き、または女の仕事だ

要です。何人が入所可能でしよ

からの考え方がヘルパーの給

うか？高額を払って有料ホー

料が少ない事につながります。

ムへ行つたとて良い介護が受

心ない言葉に傷つくこともあ

けられません。なぜヘルパー

ります。

がいませぬ。ならば、誰が介

とです。

護しますか？

①ヘルパーの地位向上を。

「自分は介護は必要ありま

②生活が安定する給料を。ペー

せん」と思っているあなた。

③働きすぎない。無理のない

ピンピンコロリと死ぬるのは

3%ですよ。平均寿命が延び

ています。介護が必要になる

期間が平均で男性が9年。女

性は12年です。

息子や娘の世代は夫婦二人

で働いてやっと生活が成り立っ

ています。若い世代に親の介

護は無理です。高齢者は何処

へ行く・・・です。お先真っ

暗なのです。これが介護制度

の崩壊の中身です。

もう一つ介護改悪が身近に

来ました。補助器具レンタル

事業所が改悪の為に事業から

手を引き始めています。私の

利用しているところもです。

買い取りか？レンタルか？そ

んな話が5月に出ました。三

週間後に事業所から「9月30

## 年金者組合京都府本部第36回定期大会に参加して

西京支部より3名。大橋照

代・山崎治男・山田喜彦の各

氏が代議員として参加しまし

た。

山本執行委員長の話は、裁

判闘争6月7日に負けたこと

ばかり強調されている中、ま

だこれからも戦いは続く。共

に頑張りましょう！と。質

疑の発言者は、11人で、わが

西京も大橋さんが「女性の会」

について発言され、私は「年

金者写真サークル」の訴えを

しました。

日で終了します」と

と連絡がありました。

4月から

はヘルパー事業

所、6月から訪

問りハビリ、鍼

灸院から料金の

改定の連絡があ

りました。すで

にヘルパー事業

所の80%が経営

が厳しいと悲鳴

をあげています。

6月から訪問リ

ハビリは、と思

えば心配は尽き

ません。(完)



6月25日(火)午後4時からの阪急桂駅西口の定例宣伝は、女性の会の役員の方々が参加。いつもより参加者が多かったので活気溢れる宣伝行動になりました。



# 元気な笑顔で楽しく歌いました

## 「年金者組合西京うたうなかまたち」

6月30日(日) 西京みんな  
でつくる音楽会が、ウエスティ  
ホールで行われ、初出場しま  
した。早見公夫さんのピアノ  
伴奏で、13人のなかまたちで  
「青い空は」「かけがえのな  
い人生を」を歌いました。舞  
台に上がり、照明に照らされ  
た瞬間は、少々緊張感も走り



ましたが、元気な笑顔とうた  
ごえをホールいっぱい届け  
ることができました。

聞いてくださった方からは、  
「年齢を感じさせない、美し  
いハーモニイでした」「心地  
のよいコーラスで、ほっとし  
た気持ちになりました」「と  
ても優しいうたごえでした」  
「みなさんの思いを現したと  
てもよい歌でした」「みなさ

ん、前を向いて笑顔で元気に  
歌っておられて、すごく良かつ  
たです」といった声をいただ  
きました。

9月に京都府全体で開催さ  
れる合唱発表会の出場権は、  
残念ながら得られませんでした  
たが、歌い終えた13人「楽し  
かった!」「よい経験ができ  
た」という思いがいっぱいで  
す。応援して下さったみなさ  
ん、ありがとうございます。  
「年金者組合西京うたうな  
またち」、今後どのように活  
動をすすめていくのか、話し  
合っています。

(山本公子)

## 一憲：読んだ本の感想

「寄り添う言葉」(永田和宏  
×「小池真理子・垣添忠生・  
小池光・徳永進」集英社イ  
ンターナショナル新書202  
4年)

どうしても読みたかった本。  
永田和宏と4人の人の対談集。  
「逝く人への言葉」は果た  
してどうあるべきか?  
「寄り添う」と何か?.....

その二つへの「解答」を  
「対談」によって探し出そう  
という大胆で、意欲的、かつ  
挑戦的な本です。

「伴侶」を喪失して、耐え  
難い哀しみを携えながらも生  
きざるを得なかった人同士の  
リアルで切実な対話が僕の情  
感に迫って来ました、超オス  
スメ本!!!

「夫婦というものは、いず  
れにしてもどちらかが先に逝つ  
てしまうもの。これだけは避  
けようのない人生時間の鉄則  
でもあります。」(永田和宏  
同書「はじめに」と冒  
頭にて永田は叙述します。  
終わりのなき時に入らむにつ  
かの間の後前(あとさき)あ  
りや有りてかなしむ 土屋文  
明(「青南後集」)

説得性ある文章と、僕は読み  
ました。  
その文章の後に永田和宏、  
生涯の伴侶であった河野裕子  
を失うとの「悲劇」をつなげ  
て永田はその「愛の喪失」の  
普遍性に迫って行きます。  
特に僕は小池真理子、そし  
て徳永進との「対談」/その  
鎮魂歌を読みたかった。それ  
までに文章に触れてきた既知  
で好きな人だったから。  
「いざ死なれてみると...  
まったくダメでした。水のな  
い古井戸の底にへ転げ落ちて  
いって... 這い上がれなく  
なるという感覚に襲われて...」  
と小池真理子は永田和宏に言  
います。  
「あの不安定で私に攻撃的  
になつていた時期は、河野が  
自分の死をなんとか自分に納  
得させるためにストラグル  
(葛藤)していたんでしょ  
う。」(私注：永田の小池へ  
の言葉。永田の伴侶、歌人河  
野裕子と永田和宏の葛藤の  
「たたかい」は「歌に私は泣  
くだろう」に感動的に描写さ  
れている)

永田は「死者は、生者の記  
憶のなかしか生きられない...  
長く生きていたいと思う」  
(永田和宏「たとえ君」)  
と、河野裕子への限りない愛  
を表明しています。  
小池真理子も同様な意識に  
囚われたことを吐露、永田へ  
の共鳴を対談で表明していま  
した。  
紙幅の関係にて、もはや、  
記す余裕はありませんが、  
一言、二言を。  
永田和宏×徳永進について  
僕は以前の徳永進のターミ  
ナル・ケアに関する本を読ん  
で、その「ケア精神」と患者・  
死に逝く者たちへの「心遣い」  
に感心していましたから、二  
人に対談も興味深く読みまし  
た。  
「死は根本的に原始のもの  
なんです」(徳永進)「家は  
解放区」「(家は)自分が束  
縛されない空間」(徳永進)..  
そして徳永は死は家で死を  
迎えるべきとの言葉を永田に  
向かって言います...  
手をのべてあなたとあなた  
に触れたときに息がたりないこ  
の世の息が 河野裕子「蝉声」  
歌人河野裕子の絶筆(口述  
筆記)を徳永進は引用して河  
野裕子のスゴさを述べていま  
した。  
言い足りないことが山ほど  
残りました。  
ぜひお読みになつてくださ  
い。「死とは?」「ケアとは?」  
「気遣いとは?」「愛とは?」  
「寄り添うとは?」..  
明快な答えが記されている  
わけではありませんが、伴侶  
を喪った人たちの生の声、本  
音がいっぱい詰まったこの本  
から、あなたの「解答」を発  
見出来るのでは...  
(細田一憲)

# 一憲：『市役所前座り込み行動』 僕の138回スピーチ

## #誰でも生きられる社会を・市役所前座り込み運動 #毎週水曜日・午後3時半から4時半

改めて運動概要について  
コロナウィルス、パンデミックの中で2020年4月に開始しました。

この「座り込み運動」の目的は、一体、この社会はパンデミックの中で「どうなるのか?」「どこに向かっているのか?」「果たして私たちは生き抜けるのか?」「生きていく展望はどこにあるのか?」等の問題意識のもとで、ただただ「生きていく不安」と「なんとかせねば」との気持ちから、願いを「京都市」(市長からスタッフ)へ「座り込みとスピーチ」で伝えることでした。

2024年4月にて「座り込み」回数200回突破して「座り込み運動」は5年目に突入しました。

先日2024年6月24日水曜日の「市役所前座り込み」は14名の参加でした。参加した人たち、お疲れ様でした。僕は138回目のスピーチを市役所前(庁舎玄関正面)

御池通り)に向かって行いました。

スピーチ冒頭でこの運動に、果たして僕たちは「何かを獲得したか?」「何か願いが実現して、少しでも豊かになったか?」「この4年で少しは世の中よくなりましたか?」と参加者/市役所前広場にて休む人たち/道を歩く人たちに問いかけました。

「ノォー!!」との答えが何人から返って来ました。 (そう、それどころか、さらに貧困が深まり進行した)

続いて二人の言葉を紹介します。

●中村哲：「人は信じるに足り、真心の愛は信じるに足りる」

●瀬戸内寂聴：「人間はしあわせになるために生きているんです・・・だから力及ばなくてもたたかい続けるんです」

この場に参加している人を僕は信じています。

ここに参加して、ただ黙して座り込む、マイクを持って自分の願いを訴求する、それが民主主義。それがこそが僕たちの市政を僕たちの手に取り戻す道だと訴えました。

2015年寂聴さんはガン手術後で自由に歩けない身体であるにもかかわらず、「安本法制」に反対するため「国会前抗議集会」に参加しました。そして車椅子に乗ったまま集会参加者に平和の大切さを訴えかけました。

仏教は「殺生を禁じます」 仏教は「慈悲を尊重します」 みんなが苦勞や貧困などの苦しみから解放されて幸せになることを願います。

みなさん、「失われた30年」といいます。 一体、それはなんであったか?

景気の後退/物価の上昇/消費税の上昇/実質賃金の低下/「アルバイト」「パートタイマー」「非正規職員」などの増加と低賃金構造の定着と、豊かさからの後退ではな

たでしょうか?

まさに、厳しい貧困を社会にもたらした30年ではなかったでしょうか?

その間、非正規雇用者は4割近くで収入も160万と少し170万にも満たない。果たしてこれで将来の幸福が担保されるのでしょうか? 結婚したり、夫婦で子どもを産んで育てたり、家を買ったり出来るのでしょうか? そんな話もしながら

もっと社会福祉を/最低時給を1500円に/消費税を5%に/生活保護費を上げてとスピーチを結びました。

※朝一番、デューク・エリントンのアルバム「MONEY」 「UNCLE」を聴きながら記す。



20周年結成を祝う会で、今年卒寿の黒住嘉輝さん(新林)にお祝が送られました。90歳おめでとうございます。黒住さんは1994年に年金者組合に加入、組合歴が30年になる大先輩です。

### 年輪西京スマホで読めます

- ①スマホのグーグル検索などで「西京九条の会連絡会」と入力する。検索すると京都 西京九条の会連絡会が出て来る。
- ②京都 西京九条の会連絡会をタッチすると連絡会の目次が出る。
- ③その中の「西京の平和団体」をタッチする。西京の平和団体の中の「年金者組合西京支部の紹介」がある
- ④ここのカラー絵の枠をタッチすると年金者組合の紹介と年輪西京2022年1月号から2024年6月号までが並んで標示される。読みたい号を選んで
- ⑤「NEWS」をタッチすると新聞画面が出て来る。一度、ためして下さい。

ハイキング紀行 (6月12日)

舞鶴・多禰寺山 (556・3m)

沖繩・九州南部が梅雨入りに関西は遅れるらしいとの予報がありました。

梅雨のこえを聞くと急に蒸し暑さを感じ、実際昨日から急に蒸し暑くなってきました。今日も予報は32度、急の暑さ寒さは体にこたえます。覚悟して機能的肌着と半袖シャツ、腕カバー、下はスパッツと半ズボンで出かけました。

8時に境谷大橋出発、同行は大橋夫妻、小林夫妻、新宮さん、私の6人でした。

京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道を通り、舞鶴東でおりて、自衛隊の施設を横目に舞鶴湾の北山間部に向かい



ました。舞鶴自然文化園を過ぎると多禰寺の標識が、西国薬師霊場三十番の札所とあって、向かう山道もきれいに舗装されていて驚きました。途中で白斑のきれいな鹿と2度出合い、多禰寺高原牧場に続く道に納得、大浦半島の多禰寺山の中腹、海拔300mにある多禰寺に車を止め、10時過ぎから登り始めました。登り口には2.1kmの標識がありました、しばらくして何かが見えたので狐だったと思います。

この山道は整備されて歩きやすかったです、「八十八ヶ所地蔵めぐり」の看板もあつたので合点がいました。巨木の根本に小さなお地蔵様が大体2体ずつ札とともに安置されていました。色々な木が林立していて木どうしの競争で上へ上へと伸びていき、松葉は足元に一杯落ちてくるのに木の幹も沢山あるのに枝が全然なく、てっぺんに広がっている感じ、でも視界に入る木々も緑がいっぱい、瓜肌楓、朴の木、青紅葉等の新緑で覆われ、木漏れ日の中、涼風もありとても心地よい登りでした。

休憩もこまめにとつて11時45分には556・3mの一等三角点に到着。頂上は青空で炎天下と思ったのですが、爽やかな風と日陰もあり、素晴らしい景色が広がっていました。リーダーが何故舞鶴まで

連れてきてくれたのかが分かりました。

舞鶴湾が一望でき、丹後半島伊根辺りも見えました。反対側には若狭湾が広がっていました。青空、綿雲、足元はお腕を伏せたような広い草原で、寝転んで手足を伸ばしました。気持ちいいの一言です。

砲台跡のくぼみも史跡として保存されていました。食後には新宮さんのコーヒーマスター、小林さんの東京土産のゴマ王子、

舞鶴湾が一望でき、丹後半島伊根辺りも見えました。反対側には若狭湾が広がっていました。青空、綿雲、足元はお腕を伏せたような広い草原で、寝転んで手足を伸ばしました。気持ちいいの一言です。

サクランボを頂戴して心身ともに癒されました。1時に下山にかかりました。同じ道を辿ったはずが、途中多禰寺ハイランドのコースへ、今度は沢山の落ち葉の積もった道になっていて足音を立てながら進みました。お地蔵様の札の数字を数え、朱色の山つつじの彩りを愛でながら、この道の下山も良かったです。2時に多禰寺に到着しました。(増田豊美子)

猛暑の中 平和行進西京コース 40名が完歩!

7月6日、土曜日。西京区役所前12時15分出発で、2024年京都網の目行進、西京コースは行進を始めました。広島・長崎の原爆投下から79年、核兵器保有国は、核兵器を持ち続けていますが、核兵器禁止条約が2017年7月、国連で決議され、世界の多くの国々が署名しました。しかし日本国は未だ署名していません。核兵器保有国は廃棄を迫られています。今年の西京の行進者は40名、気温40℃の猛暑の中、全員歩き切りました。(写真・新宮峰男)



# 支部結成20周年に寄せてその6

## 2016年の出来事は、

6月の参院選挙で戦争法は廃止の野党共闘成立。熊本地震発生死者1500人を超えました。米大統領にトランプ氏が就任しました。

1月19日、「傘寿祝賀・新春のつどい」は檜原の京美膳で開催。参加者は51名でした。3月17日、「うたごえ喫茶」をほっこりサロンで開催。ひまわり合唱団の姫野さんのピアノ。松木さんのリードで。参加者は25名でした。

4月22日。女性の会は特養「建光園」を見学しました。5月1日、第87回メーデーでは、参加者は30名。昼食懇親会はゼストのフォレストで開催。19名が参加しました。

5月13日、支部主催の日帰り旅行「魚がうまい舞鶴・春の旅」を実施。参加者は27名でした。5月16日サークル「お茶の会」が発足。指導は組合員の小島郁子さん。

5月17日、藤原克東さんリーダーで「つり同好会」が発足。5月28日、西京支部第13回定期総会をウエステイで開催。

(組合員155人)規則改正で役員の任期を1年としました。

支部長に小林長俊さん、事務局長に相木教卿さんを選出。6月29日、第13回女性の会総会、ほっこりサロンで開催。参加者26名。代表世話人は小島志津子さん。

8月2日「フォークダンスの会 マイム・マイム」が発足。講師は浜田芳江さん。



浜田芳江さん

**訃報**  
宮崎晴夫さん (89歳・檜原)  
2024年6月6日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

9月、土井さちよさんが経営されている「嵐山ココ」さん、太秦に引っ越しされ、「隠れ家ココ」に変わりました。9月13〜18日、中田勝さんの個展が「ギャラリー木村」で開催されました。10月12日、日帰り旅行「彦根城と多賀大社」観光バスで行きました。参加者は26名でした。

10月21日、京都の訴訟に関する第1回年金裁判が大阪地裁で開かれました。11月期、地域別懇談会を開催しました。

11月3〜5日、西右京写真クラブ作品展が川上善雄さん宅で開催されました。11月19日、「第12回みんなでつくる文化のつどい」が西京区役所会議室で開催。参加者は82名でした。

12月16日、西京支部主催で「年金制度学習会と望年会」をユーコート集会所で開催。参加者は33名でした。講師には府本部の森脇副委員長を迎えました。

2017年の出来事は、1月に国連で核兵器禁止条約採択。2月に森友問題が発覚。4月に辺野古埋め立てを強行。6月には共謀罪が成立。10月中国全人代で習近平1強、続く。

1月17日、京都に係る第2回年金裁判は大阪地裁で開催。1月30日、「うたごえ喫茶」が、ほっこりサロンで開催。ひまわり合唱団の姫野さんのピアノ。松木さんのリードで。参加者は25名でした。

2月7日、交通局会議室で、京都市交通局と懇談会をしました。3月1日、確定申告記入会を支部事務所で開催しました。3月9日、女性の会は「ひなまつり女子会」を開催。参加者は12名でした。

4月5日、ハイキングクラブは「公開お花見」を八幡背割り桜で開催。参加者は7名でした。4月8日、「傘寿を祝う会」をユーコート集会所で開催。参加者は53名でした。

5月1日、第88回メーデーは参加者は23名。昼食懇親会はゼストのフォレストで開催。15名の参加でした。5月26日、西京支部第13回定期総会は、ウエステイで開催。支部長に藤原克東さん、事務局長に相木教卿さんを選出しました。

6月29日、第14回女性の会総会は、ほっこりサロンで開催。参加者は26名でした。代表世話人は小島志津子さん。山川さんの「タツピング・タッチ」講習を受けました。7月4日〜14日、稲垣穂作展「テーマ：神戸開港150年」が京都銀行西桂支店で展示されました。

9月28日、「送迎付き・おしゃべり会」は、ほっこりサロンで開催されました。女性の会と支部の共催で、参加者は21名でした。10月、学区別懇談会を開催しました。10月13日、秋の日帰り旅「能勢妙見・篠山・草山温泉」8500円で実施。参加者は24名でした。

11月12日、第14回「みんなでつくる文化のつどい」を西京区役所会議室で開催。参加者は70名でした。12月6日、田中康晴さんリーダーの「京のまち歩き」が始まりました。第1回は、うら寺・錦小路から「せんそうじぞう」へ。参加者は12名でした。

12月12日、民謡の会「華」は、10周年記念「おさらいかい」を開催。会場はユーコート糸山さん宅で、参加者は30名でした。12月22日、西京支部主催「望年会」はユーコート集会所で開催。参加者は43名でした。(次号につづく)

### 各種署名集約状況 (7月1日現在)

平和・いのち・くらしを壊す大軍拡・大増税に反対する署名	80筆
75歳以上の医療費負担2割化の中止を求める署名	245筆
年金裁判、私達は大法廷で審理を求めます	71筆
最低賃金を時給1500円に	157筆
物価高に見合う年金引上げ署名	142筆
辺野古新基地建設工事の中止を求める署名	151筆
市バス運賃値上げストップを求める要望署名	308筆
難聴者の補聴器購入に係る公的補助を求めます	168筆
芸大跡地の活用に係る署名	59筆
中学校給食は巨大給食センターでなく「学校調理」での実施を求める緊急要望署名	40筆
なお、上記以外にもお預かりした署名簿は府本部に届けます。	
2022年度年金裁判カンパ 31,000円/目標85,500円	
【注】カンパ額は2024年5月1日以降の集約 (事務局：奥村敏春)	

# 絵手紙ぎゃらりー 7月



安宅明子



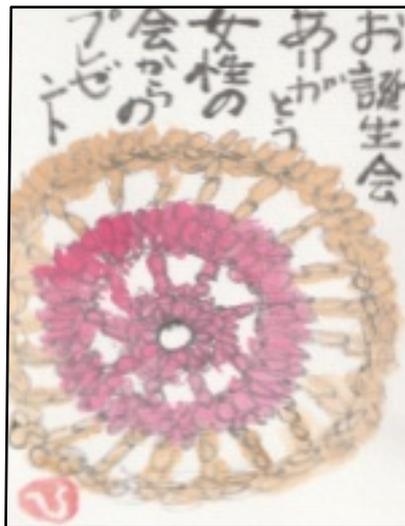
小島志津子



阿部いずみ



大橋照代



市川弘子



山本公子

## 「お助けし隊」をご利用ください

### お助け項目

- ★庭の草引き・掃除
  - ★部屋の掃除・片付け
  - ★ゴミ出し
  - ★布団干し
  - ★不用品整理・廃棄処分
  - ★電球・蛍光灯などの交換
  - ★パソコンやスマホ操作の手伝い
  - ★買い物の代行
  - ★役所手続きの手伝い
  - ★話し相手
  - ★機器の修理（物による）
  - ★車での移送、相談に応じます  
(病院・買い物・墓参り・役所手続きなど)
- ※気兼ねなく頼み、頼まれるため、少額の謝礼（1時間につき400円〜）と実費（交通費等）を頂きます。なお対応は原則2人で行います。



### 連絡先

- 藤原克東（榎原 TEL:075-391-0781）
- 田中康晴（松尾 TEL:075-391-0852）
- 大橋歳彦（福西 TEL:075-331-3273）
- 市川弘子（桂川 TEL:075-392-3717）
- 河合正臣（新林 TEL:075-331-4479）
- 新宮峰男（境谷 TEL:075-754-6471）



原口 薫



八木定子

読者文芸

短歌五首 中野祐子

濃く淡く水面きらめく海の果てに見えないロシアを浮かべ祈ろう

山頂の砲台跡の草原に

寝ころび仰ぐ蒼穹の天心

ヤマボウシ梢に花つけ風わたる

砲台あった時代超え今

舞鶴に爆撃の帰路落としたとう

残った幾発京都市街に

おだやかな入り江に架かる橋のむこう

元軍港にタンカー二隻



川柳の会 七月の題「ひかる」

彰子<sup>あきこ</sup>出て「ひかる君へ」は今佳境 (たかね)

西空に宵の明星ピッカリと (たかね)

織姫と牽牛光る天空で (たかね)

シルバーのひかる一言発散よ (一美)

あの人のひかる旅路を私にも (一美)

私にもひかる自分史あったはず (一美)

光<sup>ひかり</sup>でもものぞみに越される新幹線 (杜撰)

川柳のアイデアピカッと光れかし (杜撰)

地獄見るガザの子たちに光りあれ (杜撰)

夕暮れに光で舞つてるホタルと子 (陽子)

外灯が虫の社交場夜明けまで (陽子)

十円玉バス両替機で光ってる (陽子)

水族館光るクラゲに一目惚れ (白夜)

おお怖い突然光る夜の空 (白夜)

洞窟のあやしい光ツチボタル (白夜)

ひかる君<sup>きみ</sup>いつか登場するかしら (美夜生)

あめんば<sup>みずも</sup>かひかる水面にスイスイ (美夜生)

自由題

汗かいてますますひかる禿げ頭 (美夜生)

「新人民戦線」必勝フランスで (たかね)

沖縄県警、知事に知らせず税泥棒 (たかね)

我が国も極右の時代、安倍からは (たかね)

身の癒やし湯舟温もり満たされる (一美)

ボケ防止一言発散書きちらす (一美)

老い重ね心の中に紅を差す (一美)

改憲は縛りし怪物世に放つ (杜撰)

黄門さん裏金議員を懲らしめて (杜撰)

ピーマンの指にはりつく種にくし (杜撰)

なんでやねんバスの進行めっちゃくちゃ (陽子)

今何時頭も体も溶けてます (陽子)

汗が友食べてる時は元気です (陽子)

猛暑日の次の新語が必要だ (白夜)

暑すぎて北風小僧待ち遠し (美夜生)

愚痴言える仲間がおつて有難い (美夜生)

身震いすネットの詐欺に狙われた (美夜生)

山詠一首 大橋威彦

大浦の多祇寺の山の山法師

梅雨の晴れ間に咲き揃いけり

多祇寺山仲間と登る深緑の

原生林に鹿は駆けゆく



京の風景 7月

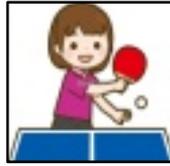


祇園祭・鉾立て

山田喜彦

**卓球サークル**

みんなで楽しく汗を流しましょう

日 時：8月1日(木)22日(木)29日(木)  
13:00~15:00

場 所：向日市民体育館

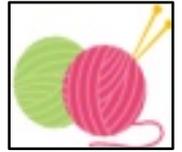
費 用：1時間200円

連絡先：池島三千江さん TEL:075-333-4615

**ニット手作りサークル**

編みたいものを編んで、おしゃべりする会

日時：7・8月は休会です。



9月から活動開始します。

連絡先：池島三千江さん TEL:075-333-4615

**絵手紙教室**

初心の方に丁寧に指導



日時：8月はお休みです

会場：西京区役所・中会議室

講師謝礼：1回1人500円

指導：清原巳治先生

連絡先：小島志津子さん TEL/FAX:075-331-7042

**お茶の会**

いっしょに初歩のお茶を楽しみましょう



日時：8月7日・21日 10:00~12:00

(毎月第1・3水曜日が定例です)

内容：裏千家茶道お稽古 濃茶と薄茶・お菓子

費用：1000円

会場：小島郁子さん宅(桂坂)

連絡先：小島郁子さん TEL:090-7097-3946

**民謡の会『華』**

民謡を 三味で唄って 華咲かそう



日時：8月1日(8月はこの日だけ)

(毎月第1・3水曜日 14:00~16:00)

会場：民謡の会「華」の会員宅

会費：2000円 指導：伊藤隆先生

連絡先：山田政広さん TEL/FAX:075-332-0016

**川柳の会**

日頃の生活を五七五にたくします



日時：8月はFAXもしくはEメール投稿です

お題：「おくる」です。

連絡先：小島志津子さん TEL/FAX:075-331-7042

Eメールは 1188michiko@gmail.com 井上美智子さんへ送ってください。

**西京支部 ハイキングクラブ**第105回例会 小倉山~金鈴峡(1.8キロ)~清滝  
涼しい川辺で2~3時間、避暑・高歌放吟は如何。

小倉山へ登れた方なら大丈夫、参加出来ます。

日時：8月14日(水)(第2水曜日)弁当・飲み物持参。

集合：8:30 阪急嵐山駅集合 桂駅発：8:05 乗車

コース：嵐山~小倉山~下六丁峠~落合~金鈴峡~清滝

参加希望者は事前に大橋までご連絡ください。

連絡先：大橋歳彦 携帯：090-5052-9239 TEL/FAX:075-331-3273

**万葉の会**

万葉集を読み学んで思いを語り合う会です



日時：8月の日程は未定。参加希望の方は

黒住さんか絹田さんにご連絡を。

会場：清水さん宅(桂坂)

又は絹田さん宅(嵐山東)

指導：黒住嘉輝さん 会費：月800円

連絡先：黒住ひかるさん TEL:075-331-9326

絹田邦枝さん TEL:075-871-6429

**ダンスサークル・フレンド**

毎水曜日 中級Aクラス 14時~14時55分

中級Bクラス 15時~15時55分

専科 16時~16時55分

毎金曜日 初級クラス 10時~10時55分

会費：2900円+100円(保険代)=3000円

会場：中京区因幡町112・4 盟親会議室1F

指導：竹中貴一先生 上山範子先生

連絡先：竹中貴一先生 携帯：090-1440-5480

**年輪西京編集部から「投稿」のお願い**

読者の皆さん、年輪西京に投稿してください。日頃、お考えの事、言いたい事、面白い話など、書いて送ってください。年輪西京で交流しましょう。



短歌・俳句・川柳・詩・エッセイ・などの文芸作品。論文・論考など。

絵画などの美術作品については、写真で送ってください。お待ちしております。

当月掲載の締め切りは第一土曜日までです。遅れると翌月になります。FAX・郵送・Eメール、又は、お近くの役員まで。

直接の送り先は、編集部の大橋歳彦まで。

〒610-1112 西京区大枝北福西町4丁目1-3-106

TEL/FAX:075-331-3273

Eメール：pikuz288@ybb.ne.jp

**釣り同好会**

高齢化のためか参加者も少なくなり、休会します。釣り希望の方は、藤原まで連絡下さい。都合があえばどこかに行きましょう。



連絡先：藤原克東 携帯090-7344-9334